

学 級：2年A組（26名）  
授業者：浦木幸代

1. 教材(単元)名 球技「バレーボール」
2. ねらい **【運動】** 球筋を整え、スパイクにつながる1・2本目にすることができる。  
**【集団】** ゲームの数値や動画をもとに、課題を設定したり教え合ったりすることができる。
3. 本時の展開（ 8 / 14 ）

| 過程    | 学習活動   | 指導・援助  |
|-------|--|--|
| 計画会   | <p>1. 準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直上パスでランニング オーバーの方向変え 体操など</li> </ul> <p>2. グループ計画会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ課題と個人課題を提案、確認する。</li> <li>練習方法や練習意図を提案、確認する。</li> </ul> <p>3. 全体計画会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【運動】</b> 球筋を整え、スパイクにつながる1・2本目にしよう。<br/>(山なりセッター返球数・セッターオーバー数・オーバーからのスパイク数)</p> <p><b>【集団】</b> 数値や動画をもとに、課題を設定したり教え合ったりしよう。</p> </div>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>事前に、個人やリーダーの思考を掴んでおく。(リーダー指導)</li> <li>自分が考える「自分の課題点」と、仲間が考える「自分の課題点」を比較して再考する。</li> <li>課題に沿った話し合いができているかを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>(研究内容II:協働的な学び)</b><br/>個人の課題点をグループの課題点として捉え、関わり合って解決しようとする姿勢をつくる。</p> </div>  |
| 練習    | <p>4. グループ練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画会で確認した動きを、実際の動きで具現する。</li> <li>ゲームで活用できるように、意識する点をおさえる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>共通認識のもとでゲームに臨もうとしているかを見届ける。</li> <li>算出時間削減のため、「成功率」でなく「成功数」で表す。</li> </ul>   |
| 確認ゲーム | <p>5. 確認ゲーム(分析・練習班は中間研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4チームでゲーム、審判、分析(練習)を交代で行う。</li> <li>各チーム6分ゲーム×2セットずつ行う。</li> <li>記録や動画をもとに、修正点を簡潔に話し合う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームのない班はモニターでゲーム動画を視聴して次のゲームに向かう。</li> </ul>  |
| 反省会   | <p>6. グループ反省会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題が解決できたかを話し合う。</li> <li>新たな課題点について話し合う。<br/>(誰のどんな技能を高めるとよいか)</li> </ul> <p>7. 全体反省会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に有効であった手立てを交流する。</li> </ul> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>山なりセッター返球数を上げるには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇をできるようにした(意識する)ことが有効であった。</li> <li>〇〇の動きの練習をしたことが有効であった。</li> </ul> </div> <p>・次時の全体課題の方向を示す。</p> <p>(8. 授業後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートで動画を「共有」して持ち帰り、グループや個人の課題を提案できるように準備する。</li> </ul> | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>(研究内容III:学びの実感)</b><br/>仲間の成長や頑張りを認め、課題点を指摘する相互評価を伝え合う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>実態に応じた課題設定や助言・評価ができる。(思・判・表)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>(研究内容I:指導計画の工夫)</b><br/>授業後に動画を共有化し、グループや個人の課題や練習方法を考える機会をつくる。</p> </div> |

## 単元構想図

### 【単元のねらい】

運動：球筋を整え、安定したスパイクを使って攻めることができる。

集団：ゲームの数値や動画をもとに、課題を設定したり教え合ったりすることができる。

### 単元を貫く課題：安定したスパイクを使って攻めるにはどうすればよいだろうか。

#### 単元導入時の意識

- ・技能を身に付け、みんなでバレーボールを楽しみたい。
- ・自分が活躍して、スパイクを決めたり、ゲームに勝ったりしたい。
- ・スパイクは初めてなので、どんな過程で上達するのかイメージできない。

#### 第1時 計画会

- ①課題：目指す姿を理解し、学習に見通しをもつことができる。
- ②活動：学習のきまりや、流れ、ルールについて理解する。

#### ③生徒の意識

「うまくなりたい」「勝ちたい」「楽しみたい」

#### 第2時 試しのゲーム/基底技能の習得

- ①課題：既習したパスやカバーの技能を生かしたゲームをして、課題を掴む。
- ②活動：ゲームを録画して今の様相を掴み、習得すべき技能を明らかにする。

#### ③生徒の意識

「協力して攻めたい」「みんなで喜びたい」

#### 第3～4時

- ①課題：〔運動〕球筋を整え、安定したパスで返し合うゲームをする。  
〔集団〕ボールをとらえる前の声や動きを意識して助言し合う。
- ②活動：山なりボールで1本目は前衛へ、2本目はネット1mに、3本目は相手後衛

#### ③生徒の意識

「目指す球筋を共通理解して臨む必要がある」

#### 第5時 中間会

- ①課題：目指す姿を理解し、後半の学習に見通しをもつことができる。
- ②活動：今の様相を振り返り、3本で守りから攻めへ整えるつながりを理解する。

#### ③生徒の意識

「課題点を見つける目をもたなくてはいけない」「スパイクを使いたい」

#### 第6～8時 (本時)

- ①課題：〔運動〕球筋を整え、スパイクにつながる1・2本目にする事ができる。  
〔集団〕実態に合う課題を設定し、教え合うことができる。
- ②活動：ゲームの記録や動画をもとに改善点を提案し、克服方法を工夫する。

#### ③生徒の意識

「自分の頑張りで班に貢献できると楽しい」「もっとうまくなりたい」

#### 第9～10時

- ①課題：〔運動〕球筋を整え、安定したスパイクを使って攻めることができる。  
〔集団〕実態に合う課題を設定し、教え合って高まる事ができる。
- ②活動：スパイクの部分練習を行い、「守る→整える→攻める」の流れを安定する。

#### ③生徒の意識

「班に貢献して勝ち、みんなで喜びたい」

#### 第11～13時 リーグ戦

#### 第14時 反省会

- ①課題：「目指す姿に到達できたか」「なぜできた(できなかった)のか」を考える。
- ②活動：動画やゲーム記録から振り返り、自己評価・相互評価をする。

#### ③生徒の意識

「課題や練習を考え、仲間のおかげで上達できた」「頑張れてよかった」

#### 単元出口の意識

- ・仲間と協力してプレーしたり、声を掛け合って上達したりすることは楽しい。
- ・次の単元でも、自分や仲間がともに上達を目指したい。
- ・さらに技能を高めてチームプレーがしたい。